別記様式第九号を別記様式第十号とし、次のように改める。

入力方向

3　養殖種類

（1）過去１年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
　そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。

施設面積：所有（借入を含む。）するすべての施設面積

使用面積：通常使用している面積（魚類を放養していない施設は除く。）

			施設面積 万 千 百 十 (㎡)	うち、使用面積 万 千 百 十 (㎡)	販売金額が最も多かったもの一つに○印
331	食用	にじます			①
332		その他ます類			②
333		あゆ			③
334		こい			④
335		ふな			⑤
336		うなぎ			⑥
337		すっぽん			⑦
338		海水魚種（ひらめ等）			⑧
339		その他			⑨
340	種苗用	ます類			⑩
341		あゆ			⑪
342		こい			⑫
343		その他			⑬
344	観賞用	錦ごい			⑭
345		きんぎょ			⑮
346	真珠				⑯

（2）過去１年間に行ったすべての地方選定養殖種類を○で囲んでください。

地方選定養殖種類番号	地方選定養殖種類名	○印欄
		①
		①
		①
		①
		①
		①
		①
		①
		①

4　養殖方法
　過去１年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。
　そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

			養殖池数（網いけす数、養殖池の区画数）(面)	養殖面積 万 千 百 十 (㎡)	販売金額が最も多かったもの一つに○印
351	池中養殖	止水式			①
352		流水式			②
353		循環式			③
354		ため池養殖			④
355		網いけす養殖			⑤
356		その他養殖			⑥

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。
記入者：　　電話番号：

別記様式第７号（第２条関係）

入力方向

様式調第７号

秘	統計法に基づく基幹統計
農林水産省	漁業構造統計

2013年漁業センサス
内水面漁業調査

内水面漁業地域調査票

平成25年11月１日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

１　記入に当たっては、「内水面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。　記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

★○印は点線に沿って記入してください。　記入例 ①

２　調査票の内容については、本年（平成25年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成24年11月１日から平成25年10月31日までの１年間について記入してください。

【統計調査員】	月　日（　）
氏　名：	午前・午後　時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。

《地域センター連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県（振興局）	市区町村	水系	小水系	客体番号

漁協種類コード（１：河川　２：湖沼　３：養殖）

市区町村名　　客体名